

令和5年度

山梨県学力把握調査結果の 概要

山梨県教育委員会

令和5年度 山梨県学力把握調査 結果の概要

山梨県総合教育センター

1 調査の目的

- ・ 節目の学年における生徒の学習の定着状況を把握するため、調査を実施し、調査結果の分析を通して、早い段階から学習内容の不十分な理解を解消するなど、きめ細かな指導に役立てる。
- ・ 授業における指導方法や学校、家庭、地域における学習環境の改善に資する。
- ・ 全国と本県を比較・分析し、授業改善につなげる。

2 調査の実施について

実施学年	校数	実施教科	実施生徒数	調査問題の範囲
中学校第2学年	83校 (分校、特別支援学校を含む)	国語	5,567人	中学校第1学年までに学習した内容
		数学	5,569人	
		英語	5,565人	

3 調査日時

実施日	実施時間		
令和5年5月22日(月) ～令和5年6月2日(金) の期間に、各校で実施日 及び実施時刻を設定して 実施	国語	数学	英語
	45分	45分	45分

4 各教科の主な結果

教科	設問数(問)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	県－全国(ポイント)
国語	26	63.2	63.9	-0.7
数学	31	52.1	53.4	-1.3
英語	33	47.5	46.1	1.4

5 結果の概要

国語

自分の考えや根拠が明確になるように話の構成を考慮ことや、文節の関係についての理解に課題がある。

数学

問題場面の数量の関係や錐体と柱体の体積の関係をとらえたり、データの傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりすることに課題がある。

英語

目的や場面、状況などに応じて、必要な情報を読み（聞き）とったり、文章の概要、要点をとらえたりすることに課題がある。また、その上で、内容に対する自分の考えなどを書くことに課題がある。

6 調査に基づく結果を踏まえた取組

①結果分析・公表

- ・学力向上フォーラム（8月21日実施）

調査の分析結果を公表し、本県生徒の学力調査における結果と課題を共有する。

- ・「授業改善・充実に向けた説明会Ⅱ～各種学力調査の結果を踏まえた授業づくりを目指して～」
（8月29日実施）

小中学校の教諭等に向け、授業改善・充実に向けた説明会を実施する。「授業改善指導資料」を配付し授業改善への具体例を示す。

- ・山梨大学との連携

山梨大学と連携し、山梨県学力把握調査及び全国学力・学習状況調査結果について、専門的見地から助言を得て、分析や各種資料に反映する。

②研修会・学校訪問

- ・分析結果を反映させた研修や学校訪問による指導等を行う。学校訪問の際には、授業観察や研究会での様子を踏まえ、適切な指導を行う。

③Web 評価支援システムを利用した個別学習の推進

- ・Web 評価支援システムの利用を促し、個別の学習課題の把握や個に合った教材の提供、家庭学習の推進を図る。

④課題のある学習内容について「ピックアップ問題」を作成、配信

- ・各学校は、「ピックアップ問題」を用いて、調査該当学年を含め全校体制で授業改善や個別の指導に生かす。

令和5年度 山梨県学力把握調査結果の分析 中学校第2学年・国語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
5567人	26問	63.2	63.9	-0.7

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.6	66.7	0.9
	情報の扱い方に関する事項	44.7	42.1	2.6
	我が国の言語文化に関する事項	91.8	93.1	-1.3
	話すこと・聞くこと	63.8	67.7	-3.9
	書くこと	54.1	56.7	-2.6
	読むこと	62.2	61.2	1.0
観点	知識・技能	64.2	63.1	1.1
	思考・判断・表現	58.9	60.4	-1.5
	主体的に学習に取り組む態度	46.3	50.0	-3.7
解答形式	選択式	64.8	64.8	0.0
	短答式	71.4	70.4	1.0
	記述式	48.1	52.3	-4.2

設問別正答率																			
通し 番号	解答 形式	観点			領域					問題の内容	出題のねらい	県正 答率 (%)	全国 正答 率 (%)	全国 との 差 (ポ イン ト)					
		知	思	態	言 葉	情 報	言 語	話 聞	書						読				
1	選択	◎								◎					話し合いの内容を聞き取る	必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。	90.8	93.2	-2.4
2	選択	◎								◎					話し合いの内容を聞き取る	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	73.7	77.1	-3.4
3	記述	◎	◎							◎					話し合いの内容を聞き取る	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。	26.9	32.7	-5.8
4	短答	◎			◎										漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	78.8	83.6	-4.8
5	短答	◎			◎										漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	99.4	99.1	0.3
6	短答	◎			◎										漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	98.9	98.3	0.6
7	短答	◎			◎										漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	55.0	57.0	-2.0

8	短答	◎			◎									漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	57.0	58.5	-1.5	
9	短答	◎			◎									漢字を書く		43.3	30.7	12.6	
10	短答	◎						◎						文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解している。	91.8	93.1	-1.3	
11	短答	◎			◎								文法・語句に関する事項		単語について理解している。	74.4	70.9	3.5	
12	選択	◎			◎								文法・語句に関する事項		文節の関係について理解している。	17.6	18.4	-0.8	
13	選択	◎			◎									文法・語句に関する事項	故事成語について理解している。	84.4	84.2	0.2	
14	選択		◎									◎	説明的な文章の内容を読み取る	文章の内容について叙述を基に捉えている。	68.0	65.7	2.3		
15	選択		◎									◎		説明的な文章の内容を読み取る	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	61.3	57.7	3.6	
16	短答	◎	◎			◎						◎		説明的な文章の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。	43.9	42.4	1.5	
17	選択		◎										◎	文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	78.4	79.6	-1.2	
18	選択		◎										◎		文学的な文章の内容を読み取る	表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	56.0	55.0	1.0
19	選択		◎										◎		文学的な文章の内容を読み取る	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	65.6	66.5	-0.9
20	選択		◎										◎	報告する文章を書く	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点を見いだしている。	75.0	75.4	-0.4	
21	選択	◎	◎			◎						◎	報告する文章を書く		情報と情報との関係について理解し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	42.0	40.5	1.5	
22	記述	◎	◎	◎		◎						◎	報告する文章を書く		情報と情報との関係について理解し、読み手の立場に立って、文章を整えている。	48.1	43.5	4.6	
23	記述		◎	◎										文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	58.7	66.2	-7.5	
24	記述		◎										◎		文章を書く	2段落構成で文章を書いている。	56.6	63.7	-7.1
25	記述		◎	◎									◎		文章を書く	読み取った内容を明確にして書いている。	50.1	54.2	-4.1
26	記述		◎	◎									◎		文章を書く	自分の考えを明確にして書いている。	48.0	53.4	-5.4

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(言葉)言葉の特徴や使い方に関する事項 (情報)情報の扱い方に関する事項

(言語)我が国の言語文化に関する事項 (話聞)話すこと・聞くこと (書)書くこと (読)読むこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
13	84.4	84.2	選択	0.2
問題の内容	文法・語句に関する事項			
出題のねらい	故事成語について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
14	68.0	65.7	選択	2.3
問題の内容	説明的な文章の内容を読み取る			
出題のねらい	文章の内容について叙述を基に捉えている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
15	61.3	57.7	選択	3.6
問題の内容	説明的な文章の内容を読み取る			
出題のねらい	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。			

【課題が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
3	26.9	32.7	記述	-5.8
問題の内容	話し合いの内容を聞き取る			
出題のねらい	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。			
授業改善の手立て	説明や発表などの学習活動をする際に、話の全体として伝えたいことを明確にするとともに、それを分かりやすく伝えるために、集めた材料や具体的な事実などの話の付加的な部分と、自分の感じたことや考えたことなどの話の中心的な部分を、どのように順序立てて伝えるか考えるなど、自分の考えやその根拠が明確になるように話を構成することができるようにすることが大切である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
12	17.6	18.4	選択	-0.8
問題の内容	文法・語句に関する事項			
出題のねらい	文節の関係について理解している。			
授業改善の手立て	主語と述語の関係をはじめとする文節どうしの関係を指導する際には、それぞれの文節が文のどのような成分になるかなどの理解を、個別の知識の習得に留めず、「B書くこと」の「推敲」などの学習過程における指導との関連を図るなど、思考・判断し表現することを通じて深めることが大切である。学習の導入時に、小学校段階の既習事項を振り返ることも有効である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
22	48.1	43.5	記述	4.6
問題の内容	報告する文章を書く			
出題のねらい	情報と情報との関係について理解し、読み手の立場に立って、文章を整えている。			
授業改善の手立て	推敲の学習活動をする際に、自分が書いた文章の説明や具体例、描写などについて、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などに着目して見直し、これらの表現が、自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかなどについて検討し、そのうえで誤解のない表現やより効果的な表現にしていくように指導することが大切である。			

令和5年度 山梨県学力把握調査結果の分析 中学校第2学年・数学

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
5569人	31問	52.1	53.4	-1.3

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	数と式	59.7	58.6	1.1
	図形	57.2	60.1	-2.9
	関数	38.4	41.3	-2.9
	データの活用	42.3	44.9	-2.6
観点	知識・技能	57.8	58.9	-1.1
	思考・判断・表現	32.7	34.5	-1.8
	主体的に学習に取り組む態度	37.2	38.6	-1.4
解答形式	選択式	56.1	60.1	-4.0
	短答式	51.0	50.0	1.0
	記述式	35.7	37.0	-1.3

設問別正答率													
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差 (ポ イ ン ト)
		知	思	態	数 式	図 形	関 数	デ 活					
1	短答	◎			◎				正の数・負の数	絶対値と数の大小について理解している。	46.1	42.4	3.7
2	短答	◎			◎				正の数・負の数	負の数の減法ができる。	86.6	87.4	-0.8
3	短答	◎			◎					負の数の乗法ができる。	90.7	88.8	1.9
4	短答	◎			◎				文字式	同類項をまとめることができる。	76.4	78.7	-2.3
5	短答	◎			◎					1次式の減法ができる。	71.3	48.8	22.5
6	短答	◎			◎				1次方程式	1次方程式を解くことができる。	72.2	71.8	0.4
7	短答	◎			◎				1次方程式	比例式を解くことができる。	61.7	62.1	-0.4
8	選択	◎		◎	◎				文字式	数量を文字式で表すことができる。	66.1	69.0	-2.9
9	選択	◎		◎	◎					数量の間の関係を不等式に表すことができる。	55.3	57.7	-2.4

10	短答		◎	◎	◎			1次方程式	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	17.9	21.1	-3.2
11	短答	◎		◎			◎	比例・反比例	関数について理解している。	20.6	18.8	1.8
12	選択	◎					◎	比例・反比例	反比例の関係での、 x 、 y の値の変化の関係について理解している。	51.4	56.7	-5.3
13	選択	◎					◎	比例・反比例	反比例の関係の表をもとに、 x 、 y の値から、反比例の式に表すことができる。	41.7	46.7	-5.0
14	短答	◎		◎			◎		比例の式から、比例のグラフをかくことができる。	39.6	45.4	-5.8
15	短答		◎	◎			◎	比例・反比例	正方形の辺上を動く点を頂点とする三角形の面積の変化の様子を式に表し、 y の値から x の値を求めることができる。	36.2	36.0	0.2
16	選択	◎					◎	平面図形	回転移動させたときの回転の角の大きさについて理解している。	58.1	60.2	-2.1
17	短答	◎		◎			◎	平面図形	角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図することができる。	27.0	23.6	3.4
18	短答	◎					◎	空間図形	おうぎ形の面積を求めることができる。	44.3	44.0	0.3
19	選択	◎					◎	空間図形	三角柱の辺のねじれの位置関係について理解している。	78.8	84.1	-5.3
20	選択	◎					◎		直角三角形を回転させたときの回転体について理解している。	85.7	89.9	-4.2
21	選択	◎					◎		四角錐の投影図について理解している。	78.6	82.3	-3.7
22	選択		◎				◎	空間図形	円錐の側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求めることができる。	37.9	41.4	-3.5
23	選択	◎					◎		底面積が等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している。	47.3	54.9	-7.6
24	選択	◎					◎	データの分布の傾向	累積相対度数について理解している。	62.5	66.2	-3.7
25	選択	◎					◎		範囲に関する説明の中から正しい文を選ぶことができる。	41.3	47.4	-6.1
26	短答	◎		◎	◎			正の数・負の数	目標の数との差を正負の数で表した表から、最大の数と最小の数の差を求めることができる。	30.3	33.1	-2.8
27	記述		◎	◎	◎				目標の数との差を正負の数で表した表を理解して、7日目でどれだけの花束を作ることができれば、目標の数の花束を作ることができるか判断し、その理由を説明できる。	42.0	42.2	-0.2
28	短答		◎	◎			◎	比例・反比例	比例の考え方を利用し、追加で花束を作ったときにかかる時間を求めることができる。	40.9	43.9	-3.0

29	短答	◎		◎				◎	データの分布の傾向	ヒストグラムから階級の幅を読み取ることができる。	53.6	53.8	-0.2
30	選択		◎	◎				◎		全体の中での1つの記録の位置を判断するための根拠となる値を選ぶことができる。	24.8	25.3	-0.5
31	記述		◎	◎				◎		ある傾向が強いと思われる一方を選び、その理由を2つの相対度数の度数折れ線から読み取った傾向をもとに説明することができる。	29.4	31.7	-2.3

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(数式)数と式 (図形)図形 (関数)関数 (デ活)データの活用

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
3	90.7	88.8	短答	1.9
問題の内容	正の数・負の数			
出題のねらい	負の数の乗法ができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
5	71.3	48.8	短答	22.5
問題の内容	文字式			
出題のねらい	1次式の減法ができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
6	72.2	71.8	短答	0.4
問題の内容	1次方程式			
出題のねらい	1次方程式を解くことができる。			

【課題が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
10	17.9	21.1	短答	-3.2
問題の内容	1次方程式			
出題のねらい	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。			
授業改善の手立て	<p>具体的な場面における問題を1元1次方程式を活用して解決できるようにするためには、以下の①～④のような一連の活動を行うことを通して、方程式を活用し問題を解決する方法を理解できるように指導する必要がある。</p> <p>①求めたい数量に着目して、それを文字で表す。 ②問題の中の数量やその関係から、2通りに表される数量を見だし、文字を用いた式や数で表す。 ③それらを等号で結んで方程式をつくり、その方程式を解く。 ④求めた解を問題に即して解釈し、問題の答えを求める。</p>			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
23	47.3	54.9	選択	-7.6
問題の内容	空間図形			
出題のねらい	底面積が等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している。			
授業改善の手立て	<p>錐体の体積と柱体の体積の関係を予想し、その予想が正しいかどうかを、錐体の容器に入った水を柱体の容器に移したり、逆に柱体の容器に入った水を錐体の容器に移したりする実験を通して確かめる場面を設定することが考えられる。その上で、底面の形が合同で高さも等しい柱体と錐体の体積の関係を捉えられるように指導することが大切である。</p>			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
31	29.4	31.7	記述	-2.3
問題の内容	データの分布の傾向			
出題のねらい	ある傾向が強いと思われる一方を選び、その理由を2つの相対度数の度数折れ線から読み取った傾向をもとに説明することができる。			
授業改善の手立て	<p>代表値の大小比較だけではなく、2つの度数折れ線(度数分布多角形)の形や位置関係にも着目して、それぞれの分布の特徴について話し合う場面を設定することが考えられる。その上で、見いだした分布の特徴からある結論を導く際の根拠を明確にし、判断した内容とその理由について説明する活動を取り入れることが大切である。</p>			

令和5年度 山梨県学力把握調査結果の分析 中学校第2学年・英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
5565人	33問	47.5	46.1	1.4

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	聞くこと	57.5	57.4	0.1
	読むこと	50.4	50.7	-0.3
	書くこと	34.3	29.6	4.7
観点	知識・技能	55.9	54.3	1.6
	思考・判断・表現	34.4	33.5	0.9
	主体的に学習に取り組む態度	21.0	17.0	4.0
解答形式	選択式	57.0	57.4	-0.4
	短答式	35.4	30.0	5.4
	記述式	29.2	25.3	3.9

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	
通し番号	解答形式	観点			領域							
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	◎			◎			リスニング (内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(命令文)	90.7	93.8	-3.1
2	選択	◎			◎				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(人と動作)	68.6	66.9	1.7
3	選択	◎			◎				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(人物と曜日)	86.0	89.5	-3.5
4	選択	◎			◎			リスニング (対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に応答している。(何をしたかとたずねられて)	60.6	54.2	6.4
5	選択	◎			◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答している。(手伝うことはできるかとたずねられて)	66.1	62.6	3.5
6	選択	◎			◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答している。(どこで買ったかとたずねられて)	15.1	14.8	0.3
7	選択		◎		◎			リスニング (さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、概要を捉えている。	81.4	85.3	-3.9
8	選択		◎		◎			リスニング (さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	36.7	39.3	-2.6

9	記述		◎	◎	◎			リスニング (対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて自分の考えを英文で答えている。	12.6	10.0	2.6
10	選択	◎					◎	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(一般動詞の過去の否定文)	22.3	23.1	-0.8
11	選択	◎					◎		対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(疑問詞who)	82.2	82.2	0.0
12	選択	◎					◎		対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(代名詞の目的格)	55.0	48.8	6.2
13	選択	◎					◎		対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(一般動詞の過去の疑問文)	36.5	42.6	-6.1
14	選択	◎					◎	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	79.9	80.6	-0.7
15	選択	◎					◎		英文の情報を読み取り、その内容を理解している。	71.9	76.8	-4.9
16	選択		◎				◎	さまざまな英文の読み取り	対話文を読み、必要な情報を把握して適切な場所を選んでいる。	48.7	47.2	1.5
17	選択		◎				◎		学校紹介を読み、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選んでいる。	42.7	42.1	0.6
18	選択	◎					◎		対話を読み、対話の流れとチャリから、必要な情報を把握して適切な語を選んでいる。	69.5	71.1	-1.6
19	選択		◎				◎		対話を読み、対話の流れとチャリから、必要な情報を把握して文脈に応じた内容を判断している。	28.8	30.1	-1.3
20	選択	◎					◎	長文の読み取り	メールを読み、代名詞Itの内容を理解している。	65.9	62.5	3.4
21	選択		◎				◎		メールを読み、その概要を捉えている。	37.5	38.3	-0.8
22	選択	◎					◎		メールを読み、その内容を理解している。	51.6	52.9	-1.3
23	短答		◎	◎			◎		メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	12.8	10.8	2.0
24	短答	◎					◎	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(be動詞の否定文)	21.4	17.8	3.6
25	短答	◎					◎		基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(一般動詞の過去の疑問文)	72.2	61.3	10.9
26	記述		◎				◎	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(whatを使って好きなスポーツをたずねる)	48.1	54.2	-6.1
27	記述		◎				◎		対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(whenを使っていつ行ったかをたずねる)	18.6	14.0	4.6

28	記述	◎				◎	情報に基づいて書く英作文	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書いている。	33.7	27.6	6.1
29	記述	◎				◎		与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書いている。	37.2	30.0	7.2
30	記述	◎				◎			32.5	27.5	5.0
31	記述		◎	◎		◎	3文以上の英作文	自分の町の有名なものについて、相手に伝わるように書いている。	31.3	27.5	3.8
32	記述		◎	◎		◎		自分の町の有名なものについて、その理由や説明する英文を相手に伝わるように書いている。	23.1	17.1	6.0
33	記述		◎	◎		◎		自分の町の有名なものについて、まとまった内容で紹介する英文を相手に伝わるように書いている。	25.4	19.4	6.0

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(聞)聞くこと (読)読むこと (書)書くこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
18	69.5	71.1	選択	-1.6
問題の内容	さまざまな英文の読み取り			
出題のねらい	対話文を読み、対話の流れとチラシから、必要な情報を把握して適切な語を選んでいる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
20	65.9	62.5	選択	3.4
問題の内容	長文の読み取り			
出題のねらい	メールを読み、代名詞Itの内容を理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
25	72.2	61.3	短答	10.9
問題の内容	単語の並べ替えによる英作文			
出題のねらい	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(一般動詞の過去の疑問文)			

【課題が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
9	12.6	10	記述	2.6
問題の内容	リスニング(対話文の応答)			
出題のねらい	英文を聞き、その要点をとらえて自分の考えを英文で答えている。			
授業改善の手立て	言語活動に取り組む際、中間指導において内容面と言語面をバランス良く指導することが大切である。例えば、Small Talkでは、会話が止まってしまった例を取り上げ、会話の続きを全体で考えさせたり、関連する質問が上手にできている例を取り上げたりして、会話を続ける方略や、応答の適切さを指導する。生徒同士の活動だけでは、指導しきれない部分もあるので、T-Sインタラクションを表現力向上の場と捉えて取り組むことも重要である。また、リスニング活動においては、学習者用デジタル教科書等を活用し、個々の生徒の学習進度に合わせて指導することが大切である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
23	12.8	10.8	短答	2.0
問題の内容	長文の読み取り			
出題のねらい	メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。			
授業改善の手立て	教科書などで説明文やエッセイ、物語などの文章全体を読む際、時系列に情報を絵や図に置き換えて整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容を把握したりする活動に取り組む。情報の関係を示す接続詞や代名詞に注目させたり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする活動が考えられる。概要の把握という受容面での英語使用にとどまらない指導が大切である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
27	18.6	14.0	記述	4.6
問題の内容	場面に応じて書く英作文			
出題のねらい	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(疑問詞を用いた疑問文)			
授業改善の手立て	文法事項の定着や適切な使い分けについては、意味のある文脈の中で言語の働きに気づかせ、何度も繰り返しその表現に触れさせることが最も重要である。そのうえで、既習の文法事項と新しく学んだ文法事項とを比較し、共通点や相違点を考える活動や、意味のある文脈を設定し、適切な表現を選択して書く活動などが考えられる。また、学習用デジタル教科書等を活用し、適切な表現を探し出すように指導することも考えられる。			